



浅野川中学校だより

あさのがわ通信



第75号 令和8年2月18日発行

金沢市立浅野川中学校

Email asanogawa-j@kanazawa-city.ed.jp

学校ホームページURL

<https://kanazawa.schoolweb.ne.jp/1720013>

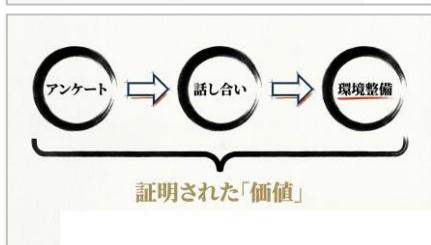


*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

「ベタスク(Better School)」が目指すもの・・・

～自分たちで変えたルール、その先にある「より良い学校」へ～

本日18日（水）に行われた生徒総会での生徒会役員からの提言です。生徒のみなさんに、もう一度よく考えて欲しいので、学校だよりも掲載します。



「ルールがなくても、自分で自分を律することができる」

の集団を目指すための挑戦です。

自由を手に入れるということは、その分、重い「責任」を背負うということです。誰かに言われてやるのではなく、今の自分の行動は「学校全体のためになっているか」「周りの人を不快にさせていないか」を、自分自身で問い合わせ続けてください。

本当の意味で「生活しやすく、誇れる学校」を、もう一度、私たちの手で作り直していきましょう。以上で、話を終わります。ありがとうございました。

今日は、私たちが取り組んできた「ベタスク (Better School)」について、改めて皆さんと一緒に考えたいと思います。

今から1年前、この学校のルールは大きく変わりました。髪型、服装、そして勉強道具の管理について。これらは皆さんがアンケートに答え、話し合い、自分たちの手で「より良い学校」にするために変えてきたものです。

自分たちで考え、生活しやすいように環境を整えていく。そのプロセス自体は、今も非常に価値のある、素晴らしい取組だったと私は確信しています。自分たちの声を形にする力が、この学校にはあると証明されたからです。

しかし、ルールが変わって1年が経った今、皆さんの姿を見ていて、心から危惧していることがあります。それは、私たちが掲げた「生活しやすい」という言葉の意味を、履き違えではないかということです。

「生活しやすい」とは、自分にとって「都合がいい」ということでしょうか？「自由」とは、自分の「わがまま」を通すということでしょうか？もし今、皆さんのなかに「ルールが緩くなったから、何をしてもいいんだ」「自分が楽をできればそれでいいんだ」という甘えがあるのなら、それは大きな勘違いです。今の状況は、本来のベタスクが目指した姿とは、ほど遠いものになってしまっています。

ここで一度、立ち止まって考えてみてください。なぜ、学校には「校則」という設定があるのでしょうか。

それは、皆さんを縛り付けるためでも、個性を否定するためでもありません。学校という、多様な人間が集まる社会において、「全員が等しく、安全に、そしてお互いを尊重しながら、学ぶことに集中できる環境」を守るために、境界線です。ベタスクでルールを緩めることができたのは、皆さんが「ルールがなくても、自分で自分を律することができる」と信頼されたからです。

しかし、もし自由を「わがまま」と履き違え、公共の場にふさわしくない身だしなみや、学びの場を乱すような行動が増えてしまうのなら、それは自分たちで自分たちの首を絞めているのと同じです。他人の権利を侵害し、学ぶ環境を壊す自由など、どこにも存在しません。

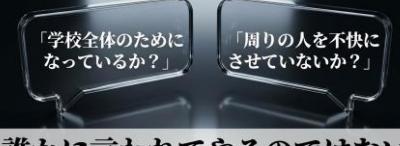
ベタスクは、不満をぶつけ合う場でも、樂をするための交渉の場でもあります。一人ひとりが「自律」し、自分たちで自分たちをコントロールすることで、より高いレベル

自分たちの首を絞めるな



学ぶ環境を壊す自由に価値はない

自由の代償は「責任」



誰かに言われてやるのはではない

もう一度、考えてみましょう